

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本研究では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	AI を用いた光力学診断画像の病理診断アルゴリズムの構築に関する後ろ向き研究		
② 実施予定期間	2018年10月24日～ 2020年3月31日		
③ 対象患者	上記の対象期間中に蛍光膀胱鏡を用いた経尿道的手術を行い、対応する病理組織検査が明らかな PPD 画像撮影が行われた膀胱癌患者さん		
④ 対象期間	2012年2月1日 ～ 2018年9月30日		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	泌尿器科		
⑦ 研究責任者	氏名	松山 豪泰	所属 泌尿器科
⑧ 使用する情報等	性別、年齢、既往歴、画像所見、病理学的所見 蛍光膀胱鏡によるPDD検査で撮影された赤色蛍光粘膜(デジタル画像)		
⑨ 研究の概要	<p>本研究の目的は、これまで蛍光膀胱鏡下における経尿道的膀胱腫瘍切除術施行時に録画保存している赤色蛍光画像とその病理診断を後ろ向きに集積(山口大学および高知大学付属病院のデータを山口大学に集約化し、解析します)し、コンピュータに学習させることにより、真にがん組織が発光する赤色蛍光を判別するアルゴリズムを構築し、それを臨床応用することにより、PDDの技術的均てん化、標準化を図ることです。以下のステップで研究を行います。</p> <p>1: 病理組織検査を癌と非がんに二分し、対応する赤色蛍光粘膜画像も二分する。</p> <p>2: パーソナルコンピュータに二分化した検体と病理情報を入力し、深層学習(deep learning)を繰り返します。</p> <p>3: 2の結果をもとに、癌と非がんを識別するためのアルゴリズムをします。</p> <p>4: 上記アルゴリズムをもちいて、病理組織検査情報を与えないPDD赤色蛍光粘膜画像の「がん」または「非がん」を予測します。</p> <p>5: 対応する病理組織検査結果と比較し、感度、特異度を算出します。</p>		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	年 月 日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会発表又は論文発表にて結果を公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人情報が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	知的財産権の帰属先は本研究共同参加者です。		
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部附属病院泌尿器科の奨学寄付金を用いて実施します。		

⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 泌尿器科 矢野誠司			
	電話	0836-22-2275	FAX	0836-22-2276

別添

研究組織

研究代表者：山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学 松山 豪泰

研究参加施設と研究責任者

山口大学医学部附属病院 松山 豪泰

高知大学医学部附属病院 井上 啓史

山口大学大学院医学系研究科 浅井 義之